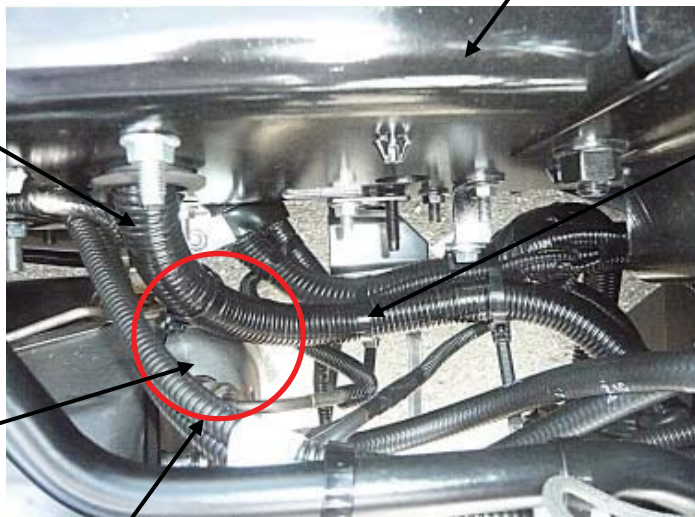


改善箇所説明図



スタータケーブル

フレーム

不適切な結束バンド

マフラーカバー

⇒ 車両前方

基準不適合発生箇所

スタータケーブルを固定するための結束バンド取付作業が不適切なため、スタータケーブルとUDPC（ディーゼル微粒子除去装置）の排気温度センサー部のマフラーカバーの隙間が少なくなるものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該ケーブルの外装コルゲートチューブがマフラーカバーと干渉することで溶損し、最悪の場合、スタータケーブルの被覆が溶損し短絡するため、エンジンの始動ができなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、スタータケーブルの結束バンド位置を点検し、不適切な場合には正規位置に修正するとともに、マフラーカバーとの隙間を確保するための結束バンドを追加する。また、コルゲートチューブに溶損がある場合は、新品のコルゲートチューブで修理し、スタータケーブルの被覆に溶損がある場合には、新品ケーブルと交換する。

注： 内は不要となる取り外し部品を示す。

識別： スタータケーブル外装コルゲートチューブに、白色ペイントを塗布する。